



### ののかぜひろば(運動会)をみんなで盛り上げていきましょう

9月に入っても暑い日が続きましたが、日を追うごとに風が秋らしくさわやかな風が吹いてくるようになりましたね。10月はこののかぜ保育園で初めての“運動会”こと、“ののかぜひろば”をおこないます。

4月にはまだ、仰向けだったり、ハイハイで遊んでいたつくし組の子どもたちも、ハイハイやつかまり立ち、あんよが楽しくなっています。「はじめまして」の子どもたちもすっかり仲間関係ができ、友だちと一緒に遊ぶことが楽しい！子どもたちです

“ののかぜひろば”では、子どもたちがこの半年間で、クラスやお部屋の中で楽しんできた遊びや取り組みを、保護者の皆さんに見ていただき、そして子どもたちの成長を喜び合いたいと思います。

また、2部では大人も楽しく体を動かし交流し会える場にしていきたいと思っています。



### 子どもたちのためにみんなで力を合わせよう！

～署名を通して私たちの声を国や自治体へ届けよう～

保育を良くする“保育運動”の時期がやって来ました。保育運動部 NEWS で少し紹介がありましたが、子どもたちが育つ環境を良くする願いを署名に託して、国や自治体に届けていきます。「署名って何？」「入園説明会で聞いたような気がするけど…」「なぜするの？」という素朴な疑問があると思います。

今ある産休明けや0歳児保育、延長保育、障がい児保育、待機児対策のための保育園づくり、配置基準の見直し等様々な父母の保育要求や、保育所で働く職員の「子どもたちにいい保育がしたい」という願いは長年の保育運動を通して一つひとつ実現してきました。

一方で保育(子ども)にお金をかけたくないという風潮から、保育の自己責任論などの圧力がその時々時代であり、子どもたちや父母、職員に厳しく立ちはだかって(今もですが)来ました。しかし、その時々父母・職員が力を合わせて“保育制度を良くする署名”を集め保育を守って来ました。

私たちは、子どもたちが、子ども時代を豊かに過ごすことが出来る社会を、子どもたちの命が守られ、どの子も格差なく発達が保障される保育と、保育者が安心して働くことができる保育園がたくさんできていくことを願っています。

子どもの権利条約が採択されて今年で30年を迎え、こどもの日には新聞各誌で特集や社説が出されました。その中に、「新しい時代を切り開く人材に一健やかな成長を社会で支えたい」では「幼児期はその後の成長への影響が大きい時期」「すべての子どもが適切な教育・保育を受けられるよう」「待機児童の解消、保育士の配置数を増やし、合わせて資質の向上を図る必要がある」(読売)と強調されています。

署名の取り組みは、「子どもたちが育つ保育環境をよくしてほしい」「認可保育所を整備し、待機児を無くしてほしい」「保育士の処遇を改善してほしい」という願いや要望を署名に託し、国や自治体に届けて行く取り組みが“署名運動”です。

仕事は忙しいし、しんどくなりがちですが、一人一人が自分のできるところから、次の世代を生きる子どもたちのためにお力を貸して下さい。